

第2回環境審議会における質問についての回答

問1 ごみ収集をする職員が感じるごみ出しの問題点は何か。

【回答】

次の2点が、問題点と感じています。

1 ごみの分別について

- ・ごみの分別を守ってほしい。
- ・ふとん、じゅうたん、カーペットなどの粗大ごみやテレビ、洗濯機などの家電リサイクル対象品が、ごみ集積所に出されていることがある。
- ・それらには、警告シールを貼り回収できない旨を知らせるが、最終的には市が回収していて、費用や手間がかかってしまう。

2 カラスの被害について

- ・カラスによるごみの散乱の被害がある。
- ・網などがあるごみ集積所は、ごみを網などの下に入れてほしい。

問2 不法投棄は、増加しているのか。どのような状況か。

【回答】

不法投棄の状況については、次のとおりです。

- ・事業者の廃材や引っ越しごみが、山間部へ不法投棄されることが多い。また、個人の引っ越しごみも見受けられる。
- ・外国人が不燃物や資源物を持ち去った後、不要な物を山間部に捨てていくことが多い。
- ・テレビ、洗濯機などの家電リサイクル対象品であることを知らない個人が、それらを集積所へ出すことも見受けられる。
- ・過去3年間の推移

年度	件数 (件)	総回収量 (トン)
24	178	11.7
25	172	9.4
26	157	13.6

問3 環境事業センターでの余剰電力の売電は、計画どおりの量なのか。
計画の発電量と計画の売電量は、どうなのか。
発電量の実績と売電量の実績は、どうなのか。

【回答】

次のとおり、発電量及び売電量については、計画どおりとなっています。

・発電量

計画 約3,491万 kWh/年

実績(H26) 約3,530万 kWh/年

・売電量

計画 約2,288万 kWh/年

実績(H26) 約2,487万 kWh/年